

平成25年度 男女共同参画キャッチフレーズ最優秀作品

「広がるよあなたが始めた参画社会」

男女共同参画社会って何？

男女共同参画基本法が平成11年に制定され、平成17年に「美郷町男女共同参画 みさと計画」を作成してから8年が経過しました。みさと計画では男女共同参画社会の実現のため、さまざまな啓発活動を行っています。

男女共同参画社会とは、性別に関係なく、互いにその人権を尊重し喜びも責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。

職場では…

男女が共に仕事と家庭の両立ができる職場をつくる。

家庭では…

家族を大切にし、家事・子育て・介護などを家族で協力する。

地域では…

男女が共に地域の活動にかかわり、よりよい地域づくりを進める。

学校では…

一人ひとりの個性や能力を伸ばし、社会で活躍できる人材を育てる。

男女共同参画

「美郷町男女共同参画 みさと計画」とは

美郷町が男女共同参画を推進していくための計画書です。平成17年度から平成26年度までの10年間を計画期間としています。

基本理念

1. 男女の人権を等しく尊重します。
2. 男女とも自らの意思を反映できる地域社会を創出します。
3. 男女が共同参画することの意義を認識します。

町では基本理念に沿って「意識づくり」「機会づくり」「環境づくり」の三つの基本目標を掲げて推進事業を実施し、町民の意識の向上に努めています。



「美郷町男女共同参画 みさと計画」は、町のホームページでご覧いただけます。

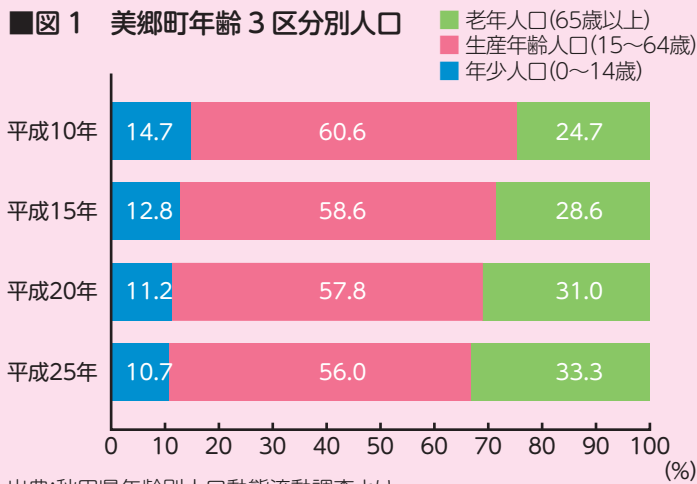
男女共同参画に関する問い合わせ先 ● 町企画財政課 企画財政班 ☎0187(84)4901

なぜ男女共同参画？

図1は美郷町の年齢区分別の人口の推移を示しています。年々、65歳以上の人口が増える一方、年少人口が減少するなど、美郷町は少子高齢化社会となっています。今後も少子高齢化が進行した場合、労働力人口の減少を招き、町の財政や経済の不安定化の要因になりかねません。

1970年以降、日本の社会はどちらかというと男性に支えられてきた傾向がありました。これを男女で支える社会に変えていかないと社会がもたなくなってしまう可能性が高くなっています。これからの社会は男女参画の視点が必ずです。

■図1 美郷町年齢3区分別人口



出典:秋田県年齢別人口動態流動調査より

女性の社会参加

女性の社会進出がかつてより進んだとはいえ、男女共同参画白書によれば、働く女性の約6割が第一子の出産を機に退職している現状にあります。仮に、仕事を続けたい女性が退職せずに済むようになれば、労働力の確保にとって大きなプラスになります。消費者のニーズも多様化する現代社会では、女性の視点を取り入れることは、企業にとってもメリットがあります。

また、東日本大震災のような長期間にわたる避難所生活では、育児するための場所や心のケアについて、女性の視点が重要であると伝えられました。少子高齢化社会と言われている昨今、女性たちの生活感覚や視点をまちづくりに活かしていくことも大切になっています。

女性のチャレンジ

昨年9月、美郷町ふれあいセンターで女性チャレンジセミナーを開催しました。講師を務めたのは、大館市「陽気な母ちゃん」の代表の石垣一子さん。石垣さんは、お店を立ち上げたきっかけや、家族、地域の協力や支えがあった成功につながったことなどを講演しました。

参加した方々からは、「女性が社会でチャレンジする場合は、家族の協力と共同参画社会への理解が必要」「主婦が仕事をする場合、家事をこなすだけでも体力を使うので、仕事に全精力を注ぐのは難しい」「何事も楽しく働くことが一番大切だと思った」など、貴重なご意見をいただきました。

